

企画展
シリーズ干支

未

ひつじ

平成26年 平成27年
12月22日(月)～1月25日(日)

- 開館時間…9時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日…年末年始(12月29日～1月3日)
- 入館料…大人600円、小中学生300円
- (団体20名様以上2割引)※長浜市・米原市の小中学生は無料
- 主催…公益財団法人長浜曳山文化協会

忘拳の未がやつてくる。



重要有形民俗文化財 祇園祭山鉦二九基のうち
保昌山復元新調緋羅紗地蘇武牧羊図前懸 (部分)
写真提供: 株式会社龍村美術織物

「長浜曳山祭の曳山行事」はユネスコ無形文化遺産登録候補です

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON ST. AND HAKUBUTSUKAN Ave.



— 新年は曳博で —

企画展 シリーズ干支

未 ひつじ



2015年の干支「未(ひつじ)」を題材として

未は未来への展望を意味しますが、未年の人は総じて気がやさしいといわれ、男の人なら今でいう草食系といった雰囲気でしょうか。未は羊とも書き、「祥」「善」「美」という漢字が思い浮かび、美しさや優しさの象徴として縁起物、お守りとされてきました。キリスト教では神のお使いとされ、仔羊は神の子であり、神そのものとも考えられています。中国では牛に並んで古くから農畜において大切な動物とされてきました。本展示では、祇園会保昌山の懸装品である前懸(重要有形民俗文化財)と円山応挙作の前懸下絵(京都市指定有形文化財)をはじめ、白くまとりした干支の置物や玩具、そして社寺に刻まれた姿など多方面から追ってみました。

曳山博物館 館長 中島誠一



京都市指定有形文化財 祇園会保昌山前懸下絵屏風 円山応挙筆
写真提供:京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課

主な展示資料

祭に描かれた未

重要有形民俗文化財保昌山復元新調緋羅紗地蘇武牧羊図前懸……一枚 保昌山蔵
京都市指定有形文化財 祇園会保昌山前懸下絵円山応挙筆……二曲屏風一隻 保昌山蔵
絹本着色未草図……一幅 個人蔵

縁起・お守りの未たち

小幡人形未……七点 東近江市近江商人博物館蔵
引き札(仏壇仏具 道仁店 伊部町)……長浜市長浜城歴史博物館蔵
記念切手……個人蔵
未木目込み人形……四十二点 個人蔵



引き札

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

[TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

入館料			
	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳の提示で本人と介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

■ 9時～17時(入館は16時30分まで)
■ 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分